

式辞

新入生の皆さん、このたびはご入学、誠におめでとうございます。長崎総合科学大学を代表し、皆さんを心から歓迎しますとともに、本学での学びの第一歩を踏み出されることを、大変うれしく思います。また、今日の日に至るまで、皆さんを温かく見守り、支え続けてこられたご家族ならびに関係者の皆様に対し、心よりお祝いを申し上げます。

皆さんは今、大きな希望と期待を胸に抱く一方で、新しい環境への緊張や不安も感じておられることと思います。これから始まる大学生活は、教養を深め、専門分野の知識や技術を身につけるとともに、多様な人との出会いを通して、人間性を磨いていく貴重な時間です。

大学院生の皆さんは、社会のリーダーとしての力を付けるために、研究者としての第一歩を踏み出します。別科の皆さんは、日本語を習得し、大学への進学に向けた準備を整えてください。

今の率直な気持ちを大切にしながら、一步一步、学びの道を進んでいってほしいと思います。

近年、日本社会は大きな転換期を迎えています。エネルギー・産業構造・デジタル技術、これらを巡る課題に対し、国を挙げた取り組みが進められており、いままさに「どのような技術を、どのような人材が担っていくのか」が問われています。

DX（デジタル・トランスフォーメーション）を代表するAIの分野では、政府が開発・利用に関する基本計画を初めて策定し、国として投資を行う方針を打ち出しました。日本が強みとする高品質なデータや、製造業・サービス業が長年にわたり培ってきた現場力を生かし、「信頼性の高いAI」や、実世界と結びついたフィジカルAIの分野で、独自の競争力を高めていこうとしています。

一方で、AIの普及は、かつてない規模のエネルギー消費を伴う時代の扉を開きました。

そこで政府は、脱炭素エネルギーを用いたグリーン社会を目指すGX（グリーン・トランスフォーメーション）の分野に、官民投資を集める取り組みを開始しました。次世代太陽電池として期待されるペロブスカイト型太陽電池や、洋上風力発電の開発が進む

とともに、二酸化炭素排出量を抑えたグリーンAIデータセンターやグリーン・スマートビルが建築されるなど、エネルギー分野の技術革新は着実に現実のものとなっています。

このように、デジタル、AI、エネルギーといった分野は、もはや個別に存在するものではなく、融合された新しい技術体系として発展していくことが求められています。こうした社会の要請を見据え、本学では、文系・理系の枠を超え、情報を自在に扱う力をも身につける教育に力を入れています。その一つとして、情報活用能力を客観的に示すことができる「日商アソシエイトマスター認定制度」をカリキュラムに取り入れ、学生の皆さんが在学中から、AIやデータサイエンスに関する実践的な力を身につけられる仕組みを整えています。これは、専門分野を問わず、情報を読み解き、社会に活かす力が、すべての技術者に求められる時代になっていることを踏まえた取り組みです。

皆さんが社会に出る頃には、AIは今以上に進化し、現在存在する仕事の多くが姿を変え、新しい形へと移っていることでしょう。代替される職業がある一方で、そこから新たに生まれる仕事もあります。とりわけ、AI関連分野や高度なデジタル技術、さらにはそれらを補いながら共に発展していくエネルギー関連などを担う技術者は、これからの社会において、ますます重要な存在となっていくと思います。そのような時代において、技術者の役割と社会的価値は、これまで以上に高まっていくに違いありません。

長崎総合科学大学には、高い熱意をもって学生と向き合う教授陣がそろっており、講義や実験では、理論にとどまらず、現場での応用や社会課題への関わりといった、実践的な視点を重視した教育が行われています。まずは学部において、教育プログラムを通じて確かな基礎を身につけてください。そのうえで、大学院では応用力と研究力をさらに高め、高度な専門性を備えた技術者へと成長していただきたいと思えます。

また、本学では学部から大学院まで一貫した学びの環境を整えており、大学院においては、安心して学べるように経済的支援の授業料の実質無料化制度も用意しております。経済的な安心と大きな期待をもって、学修と研究に打ち込める環境は、他大学にはない本学の大きな特長の一つです。

さらに、地域や産業界と連携した実践的な学びを重視していま

す。「グリーン・デジタル産業分野教育協議会」を立ち上げ、企業と共に教育プログラムを構築し、実社会と結びついた学生教育を進めています。現在、協議会にはエヌビディアやソニー、京セラといった三十五社の企業と二つの団体が賛同してくださっています。その取り組みの一環として、「冠講座」を設置し、企業の第一線で活躍されている技術者や経営層の方々から、講義を直接受けられる機会を設けています。共同研究講座も八つ設置され、半導体・AI・EV・エネルギー・宇宙開発などの研究を一緒に行えます。これらにより、学生の皆さんは単に学問を学ぶのではなく、一年次から、社会が必要とされる知識や視点を習得し、将来のキャリアを具体的に描くことが出来ます。

長崎総合科学大学には、教育の根幹をなす「建学の精神」と「大学の理念」が掲げられています。その中のひとつに「創意創新」があり、常に先進的で独創的な技術を開発して、社会の発展に寄与する新しいものを作り出す開発力を有する人材を育むことがあります。

本学では、皆さん一人ひとりに、自らの強みを見つけ、知識と技術という「自分を支える確かな力」を大学・大学院生活を通して身につけてほしいと考えています。ここで培った技術力は、将来、困難に直面したときにも、皆さん自身を助け、道を切り拓く力となります。

ぜひ新入生のみなさんには、その「創意創新」のもと、日々の努力を積み重ね、実り多い時間を過ごされることを願っております。

最後に、皆さんの前途に幸多からんことを祈念し、私の式辞といたします。

令和八年四月二日

長崎総合科学大学

学長 黒川 不二雄